



夢・挑戦・感動を大切にする教育

霞西中だより

第 5 号

令和2年7月1日 発行 校長 堤 貴幸

〈学校教育目標〉

心身ともに健康で
自ら行動する生徒の育成

〈目指す生徒像〉

- 夢を持ち自ら学ぶ生徒(自主)
- 心豊かで思いやりのある生徒(敬愛)
- 心身ともに健康な生徒(錬磨)

家庭学習のすすめ ～アウトプットによる復習を～

今週から、全校生徒が揃っての6時間授業と部活動が再開となり、学校が本格的に再開されました。校内のあちこちから生徒の元気な声が聞こえてきて、まだ、学校生活に様々な制約はありますが、ようやく本来の学校に戻りつつあります。

授業が始まりましたので、その定着度を確認するための定期テストも始まります。今年度の1学期は、中間テストを実施できませんでしたので、いきなり期末テストが約2週間後の7月16・17日で行われます。今回は中間テストがありませんので、それだけ期末テストが重要になります。また、1年生にとっては中学校入学後の初めての定期テストです。中学校のテストは、小学校の時のテストと比べてテスト範囲が広いので問題数が多く、難しさも違います。定期テストは、授業をしている教員自身が作成しているわけですから、応用問題以外は全て授業でやった内容が出題されます。ですから、授業で学習した内容をどれだけ理解し、テストまで忘れずにいられるかが勝負です。

右上のグラフは「エビングハウスの忘却曲線」と言います。19世紀のドイツの心理学者であるヘルマン・エビングハウスが「記憶の忘却」について研究を行い、「忘却曲線」を発見しました。エビングハウスの研究からわかったことは、人間は何かを学んだ時に、20分後には約40%、1時間後には約55%、1日経つと約75%忘れてしまう、つまり「人間は覚えたことをすぐに忘れてしまう」ということです。

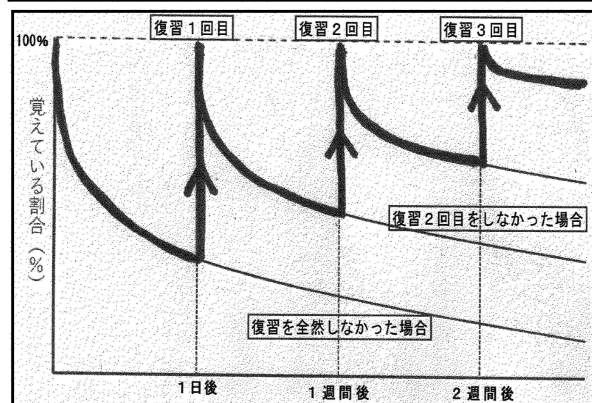
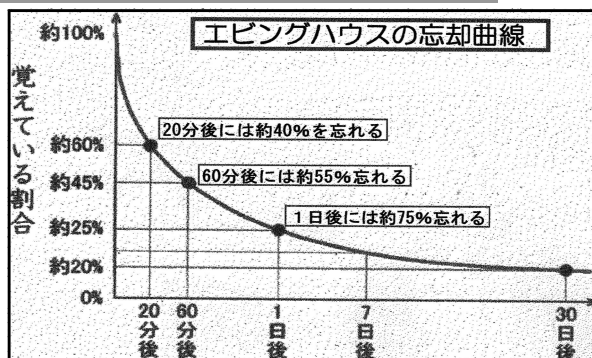
そこで、それを防ぐために必要になるのが「復習」です。右下のグラフは「復習の効果」を表したものです。復習を繰り返すことにより少しずつ記憶を復活・強化させ、学習内容を忘れにくくすることができます。復習をするタイミングは、「1回目はなるべくその日のうちに行う(ざっと見直すだけでも良い)、2回目は1～2日後、3回目は1週間後」が良いとよく言われます。

また、復習をする際の「方法」によっても記憶量に差が出ることがわかっています。アメリカの大学で復習方法別の記憶量の実験が行われたことがあります。その実験とは学生をA・Bの2つのグループに分け、それぞれの学生に科学のテキストを読ませ、違う方法で復習をさせるというものです。Aグループには「テキストを読んだ後、復習としてもう1回同じ物を読ませる」、Bグループには「テキストを読んだ後、復習としてテキストに関する小テストをやらせる」ということをさせ、2日後と1週間後にテキストの内容に関するテストを行ったそうです。その結果、BグループはAグループより明らかに点数が高く、さらに2日後より1週間後の方がその差が大きかったそうです。2つのグループはどちらも復習をしました、小テストというアウトプットをしたBグループの方が、テキストを2回読むというインプットだけの学習をしたAグループより良い結果になったのです。

脳には、入力された情報よりも出力したことをより強く記憶しようとする「出力依存性」があり、アウトプットしなければなかなか記憶に定着しにくいという特徴があるそうです。そのため、ただ情報をインプットするよりも、「アウトプットを意識して」インプットした方が記憶の定着率や理解度は高まるのです。ですから、単に暗記しようとか覚えようとするだけの学習は能率が悪いということです。アウトプットの方法としては、「まとめノートを作る」「読んだ文章を図式化する」「問題集を解く」「覚えるべき事を単語帳に書く」「学んだことを人に話す」などがあります。自分に合ったアウトプットの方法を見つけると良いでしょう。

本校では家庭学習を奨励するために、全学年で「自主学習ノート」の取組を行っています。生徒各自が自主学習ノートに家庭学習をやった翌日に提出、教員がチェックをして次への意欲付けを行っています。自主学習ノートは、まさにアウトプットの学習法です。

各ご家庭でも家庭学習の重要性について親子で話題にいただき、励ましの言葉をかけてあげてください。



7月の行事予定

	行事	下校	部活
1 水	1年生保護者会(2:35) 1年生部活動見学(4:50下校)	5:30	○
2 木	生徒会専門委員会(5:30下校)	4:15	×
3 金	2年生保護者会(2:35)/1年生仮入部①(5:00下校)	5:30	○
4 土			
5 日			
6 月		3:15	×
7 火	学年朝会/1年生仮入部②(5:30下校)	6:00	○
8 水	1年生仮入部③(5:30下校)	6:00	○
9 木	1年生仮入部④(5:30下校)	6:00	○
10 金	全学年埼玉県学力・学習状況調査/1年生本入部	6:00	○
11 土	期末テスト前部活動停止期間開始		×
12 日			×
13 月	6時間授業/3年生保護者会(2:35)	4:15	×
14 火	部活動保護者会①(2:35)/放課後学習会 【野球・サッカー・バレー・男バスケット・剣道】	4:15	×
15 水	部活動保護者会②(2:35)/放課後学習会 【女バスケット・卓球・美術・吹奏楽・総合活動】	4:15	×
16 木	期末テスト(4教科)/テスト後、授業2時間	4:15	×
17 金	期末テスト(1・2年3教科、3年4教科) テスト後、1・2年授業3時間、3年授業2時間 生徒会中央委員会(5:30下校)	4:15	×
18 土			
19 日			
20 月	6時間授業	6:00	○
21 火		6:00	○
22 水		4:15	×
23 木	海の日		
24 金	スポーツの日		
25 土			
26 日			
27 月	6時間授業	6:00	○
28 火		6:00	○
29 水	給食終了/全学年眼科検診	6:00	○
30 木	短縮3時間/部活動弁当持参	3:00	○
31 金	終業式	11:50	×

8月の行事予定

	行事	下校	部活
1 土	夏季休業日(～16日)		
2 日			
3 月	3年生学習会(理科)		
4 火	3年生学習会(英語)		
5 水	3年生学習会(社会)		
6 木	3年生学習会(数学)		
7 金	3年生学習会(国語)		
8 土			
9 日			
10 月	山の日		
11 火	開庁日		×
12 水	開庁日		×
13 木	開庁日		×
14 金	開庁日		×
15 土			×
16 日			×
17 月	始業式	11:50	×
18 火	短縮3時間/部活動弁当持参	3:00	○
19 水	給食開始/6時間授業	6:00	○
20 木		6:00	○
21 金		6:00	○
22 土			
23 日			
24 月	6時間授業	6:00	○
25 火		6:00	○
26 水		6:00	○
27 木	生徒会専門委員会(5:30)	4:15	×
28 金	生徒会中央委員会	6:00	○
29 土			
30 日			
31 月	6時間授業/生徒総会	6:00	○

9月の行事予定

	行事	下校	部活
1 火	学年朝会	5:30	○
2 水	3年生市学力調査	5:30	○
3 木		5:30	○
4 金	1学期通知表手交	4:15	×
5 土			
6 日			
7 月	5時間授業	3:15	×
8 火		5:30	○
9 水		5:30	○
10 木		5:30	○
11 金	生徒会本部役員選挙公示	5:30	○
12 土			
13 日			
14 月	5時間授業/教育実習開始(～29日)	3:15	×
15 火	生徒朝会(合唱コンクール抽選) 生徒会本部役員選挙立候補受付(～18日)	5:30	○
16 水	新人スポーツ大会市予選会抽選会	5:30	○
17 木		5:30	○
18 金		5:30	○
19 土			
20 日			
21 月	敬老の日		
22 火	秋分の日		
23 水	生徒朝会(新人スポーツ大会壮行会)	5:30	○
24 木	5時間授業	5:30	○
25 金	新人スポーツ大会市予選会①	5:30	○
26 土	新人スポーツ大会市予選会②		
27 日			
28 月	新人スポーツ大会市予選会③/6時間授業	5:30	○
29 火	新人スポーツ大会市予選会④	5:30	○
30 水	生徒会専門委員会 新人スポーツ大会市予選会予備日	5:30	×

- ※1 市教育委員会の指示により、1学期の通知表は9月4日(金)に配付することになりました。そこで、1学期の評価は8月18日から8月31日までの各教科の授業内で実施される「単元テスト」「小テスト」「実技テスト」「作品提出」等も加味して出します。
- ※2 「合唱コンクール」は例年通りに10月31日(土)の午前中に規模を縮小して開催する予定です。
- ※3 5月に開催できませんでした「体育祭」を「ロードレース大会」に替えて11月21日(土)の午前中に規模を縮小して開催する予定です。
- ※4 「合唱コンクール」「体育祭」ともに、その時の新型コロナウイルスの感染状況次第で開催できなかったり、保護者に公開できないこともあり得ますので、ご承知をお願いします。
- ※5 大地震発生に備えた「引き渡し訓練」は、「合唱コンクール」の日(10月31日)に実施する予定です。

お知らせ

子どもたちの頑張っている様子を家庭や地域に発信するために、「霞西中だより」で、お子様の名前や写真を掲載させていただくことがございます。このことにつきまして、不都合等がございましたら、担任を通じて学校にお知らせ願います。

学校掲示板

和歌

二〇二〇七

日本人は古来、三十一文字の和歌を作り
さらにわずかに七文字の俳句まで発明した
歴史は時代の大きな流れから
それにそった人間の営みに焦点をあてるが
人は歴史的な事件のために生きている
日々の暮らしには新たな事象が起ってくる
その変化の中から心に響いた
四季の移り変わりや愛情や
泣いたり笑ったりした人間の姿を
リズムのあることばでとらえようとしてきた
そして今でも多くの人々が作り続けている
これは他に類をみない日本語ならではの
まさしく世界に誇る大衆の文学だ

【元本校職員
〇〇〇〇氏 筆】